



長年わたる功績をたたえて 全国検察審査協会連合会表彰を受賞

佐藤政寛さん（高玉）が、全国検察審査協会連合会表彰を受賞されました。

佐藤さんは平成20年5月米沢検察審査会委員に選任され、副会長、会長を歴任されました。その後は米沢検察審査協会の理事として、広報活動や立哨を通じ、米沢検察審査会制度の普及啓蒙活動に携われ、これまでの功労を称え本表彰が贈られました。

また、佐藤さんは会員相互の親睦を図るべくさまざまな企画立案に取り組み、協会の持続的運営に対する率先垂範の姿勢に会員の人望は厚く、次を担うリーダーとして期待されています。

この度は誠にありがとうございます。



表彰状を掲げる佐藤さん



町民の安全・安心を守る 令和4年度春季消防演習を実施

白鷹町消防団（平盛和団長）による令和4年度春季消防演習が白鷹中学校グラウンド、役場駐車場を会場に開催されました。

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した形での開催となりました。春季演習は、団員の士気高揚と災害に備えた消防力および組織力の確立を目的として行われています。

役場周辺で行われた火災防ぎょ訓練では、実際の火災さながらの状況下で、俊敏な動きによる迅速な放水が行われました。また分列行進では、各分団、堂々の行進を行いました。団員の方々のきびきびとした行動や士気の高さで、滞りなく演習が執り行われました。



火災防ぎょ訓練及び分列行進の様子（役場周辺）

Instagram 白鷹町公式 Instagram を 開設しました！

follow me //



白鷹町公式の Instagram のアカウントを開設しました。Instagramの特徴である写真やショートムービーで町の魅力やイベントをお伝えしていきます。ぜひ、白鷹町公式アカウントのフォローをよろしくお願いします！

Instagram で で検索 検索





法被をリニューアル 白鷹の四季、伝統、特産品をアピール

(一社)白鷹町観光協会では、これまで約20年にわたりイベントやPR活動に使用されてきた法被をリニューアルしました。新デザインを町内在住で日本画家でもある、渡辺久美さんが担当されました。

新しく発表された法被は、イメージカラーはそのままに、あかすももをイメージした濃いピンク色。点在する古典桜をたくさんの花びらで表し、背面には、最上川を遡上する力強い鮎が描かれ、襟と袖裏に、紅花の花の色黄色をアクセントにし、裾には、どこまでも広がる紅花畑をイメージさせる最上紅花が描かれています。そして、伝統工芸品である白鷹紬をイメージした亀甲柄を配しています。白鷹の四季、伝統、特産品、いずれも未来へ残したいという思いが込められています。

町内関係者らが真新しい法被に袖を通し、今後の白鷹町の観光、各種イベントの盛り上げりに期待を寄せ、ようこそそのポーズでPRを行いました。



法被発表会の様子
新デザインの法被に袖を通す関係者



おいしいお米を作るぞ！ 町内各小学校で田植え作業を実施

東根小学校の5年生の児童たちは、小山沢地区中山間地域づくり推進協議会(小林宣浩会長)の方々にご指導をいただきながら、1年を通して米づくりの体験学習を行っています。この日は田植えを行い、先生方の指導のもと、手際よく苗を植えていました。

また、鮎貝小学校の5年生も「田んぼの学校」(白鷹町土地改良区事業)で田植え体験を行いました。この日は、JA青年部の皆さんにお手伝いいただきながら、手植えや田植え機に試乗しながらの作業を行いました。

これらの活動は食を支える農業の尊さを学ぶため、毎年実施されているもので、児童たちは楽しみながら活動を行っていました。



上:田植え機に試乗しながら苗を植える様子(鮎貝小)
下:線に沿って苗を植える様子(東根小)



町内各小中学校の児童・生徒による紅花栽培 間引きを実施し、若菜を給食で味わう

東根小学校4年生による間引き作業が行われました。

4月にまいた種は順調に成長しており、今回は若菜と若菜の間隔を少し空けるように間引き作業を実施。

暑い中の作業でしたが、間引きと選別作業を丁寧に進め、約1時間で作業を完了しました。収穫した若菜は調理場で調理され、給食に「緑黄色野菜のみそ汁」として提供されました。

児童たちは、地域の方々や調理場の方々の協力により作業が実施できることに感謝しながら、提供された給食を「おいしい!」「かぼちゃとマッチしておいしいね」と笑顔を浮かべながら食していました。



カッコよく!を合言葉に作業を行い
綺麗な紅花の畦が出来上がりました。